



7. 8月



年長学年だより

蒸し暑い日が続く梅雨空の中、紫陽花が綺麗に咲いています。子ども達が育てている野菜達も、小さな可愛い花を沢山咲かせています。引き続き、水分補給と休息をとり、体調管理に気を付けていきたいと思ひます。



今月の目標

- ・友達と関わり合いながら仲間意識を深める。
- ・みんなで考えたり、確かめ合ったりして遊びを工夫、発展させる。



今月の予定

- ・七夕の短冊には自分の願いを考えて書きました。笹飾りも制作し、7月14日に持ち帰ります。
- ・水鉄砲を使ったり、水の実験をしたりして水の遊びを楽しみます。
- ・夕涼み会は、夕食でカレーライスを食べ、キャンプファイヤーをして楽しみます。
(育てた野菜をカレーの中に入れて食べます。)



七月の百人一首

① 此の度は帯も取り敢はず手向山

紅景の錦神のまにまに

菅 家

② 小倉山峰の紅景景心あらば

今一度の御幸待たなむ

貞信公

③ 山里は冬ぞ寂しき勝りける

人目も羊も枯れぬと思へば

源宗于朝臣

④ 心當てに折らばや折らむ初霜の

置き惑はせる白菊の花

凡河内躬恒

⑤ 朝ぼらけ有明の月と見るまでに

吉野の里に降れる白雪

坂上呈則

⑥ 山川に風の掛けたる櫓は

流れも敢へぬ紅景をりけり

春道列樹

八月の百人一首

⑦ 久方の光長閑けき春の日に

静心なく花の散るらむ

紀 友則

⑧ 誰をかも知る人にせむ高砂の

松も昔の友ならなくに

藤原興風

⑨ 人はいさ心も知らず古里は

花ぞ昔の香に匂ひける

紀 貫之

⑩ 夏の夜はまだ宵ながら明けぬるを

雲のいづこに月宿るらむ

清原深養父

⑪ 白露に風の吹きしく秋の野は

貫き留めぬ玉ぞ散りける

文屋朝康

夏休み前に百人一首を持ち帰ります。お家でもかるた取りをお楽しみ下さい。

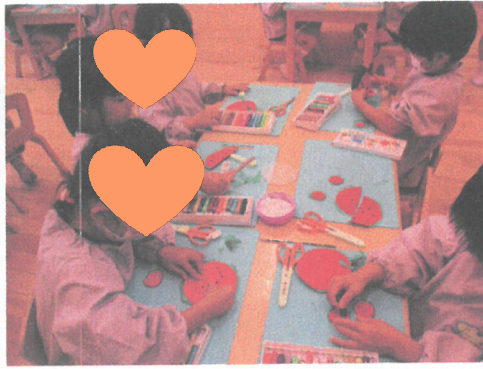


器楽練習



各楽器に分かれて練習をし、その後自分のクラスで合わせました。初めて演奏する楽器や、年少組から馴染みのある楽器など、自分の担当の楽器に責任をもって一生懸命練習していました。

笹飾り制作



風に揺れる西瓜の笹飾りを作りました。渦巻きを切るのに苦戦しているお友達もいましたが、「長くなったー！」と楽しそうに驚いていました。西瓜やキラキラテープを思い思いに飾りつけ、風でクルクル回る様子に子ども達の目もキラキラしていました。

野菜の成長



毎朝、日直と当番が野菜に水やりをしています。戸外遊びの時には草を抜いたり成長を観察したりしています。6月17日には董さんが選んだ胡瓜の初収穫が出来、「胡瓜って触ると痛い！」と驚いていました。